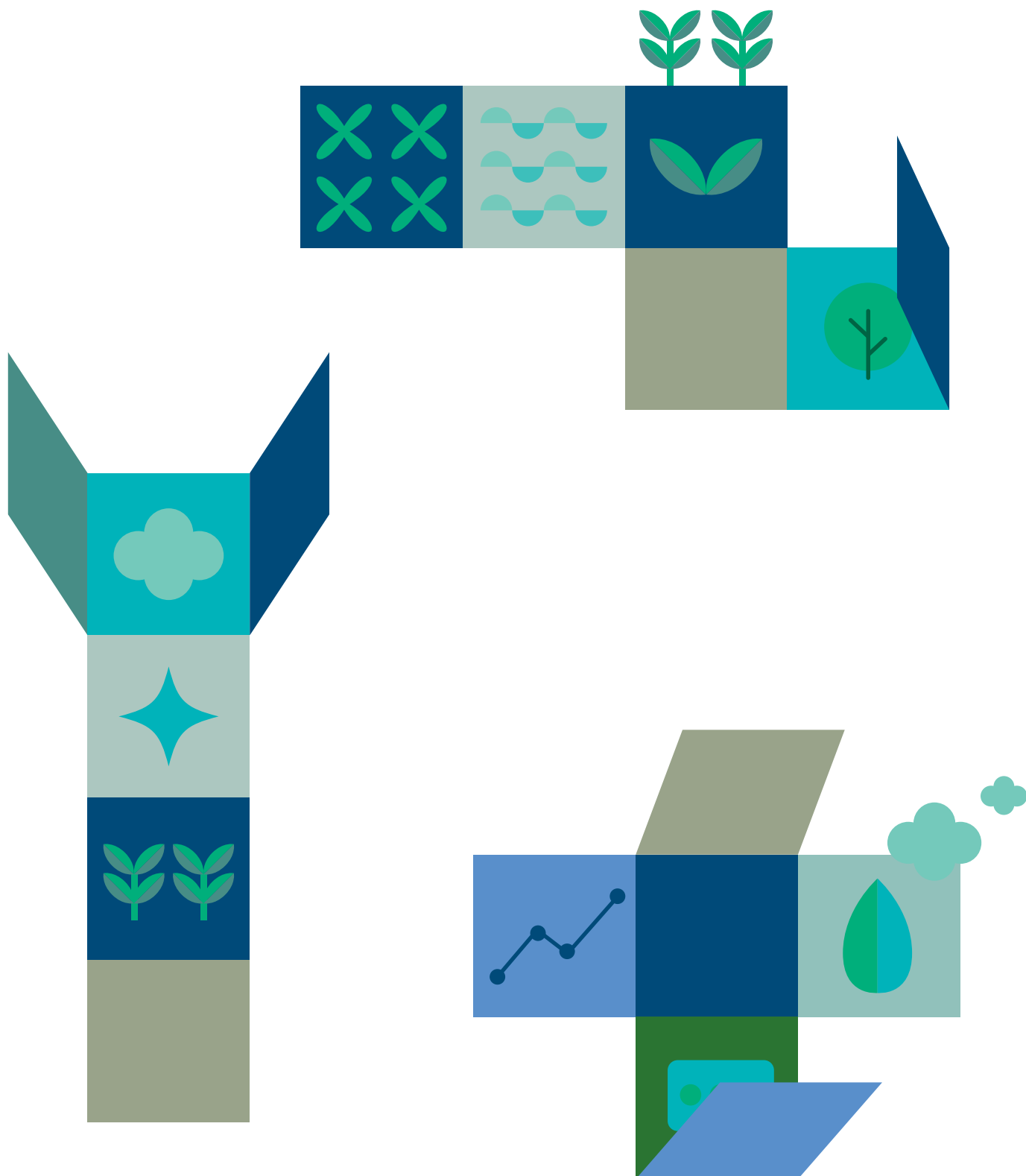


MAKE IT 2023

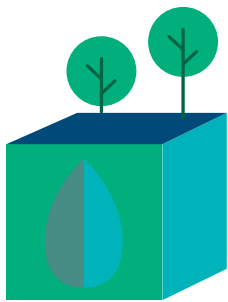
令和5年度

札幌市ものづくり支援事業

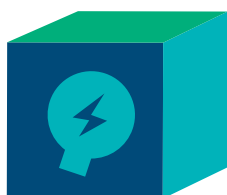
成果事例集



SAPP_URO



つくれるまちは、強い。



まだないものを、つくろう。

誰かのために、開発しよう。

社員のために、環境を整えよう。

家族のために、稼ごう。

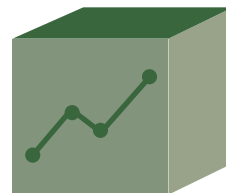
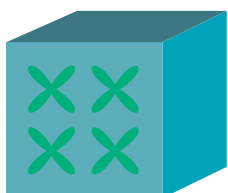
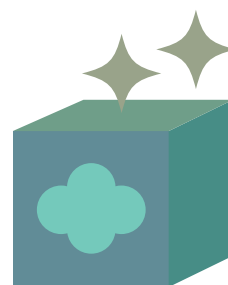
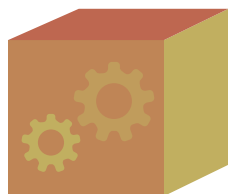
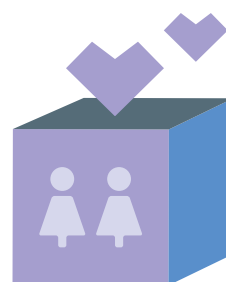
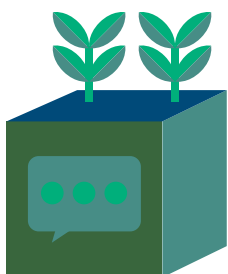
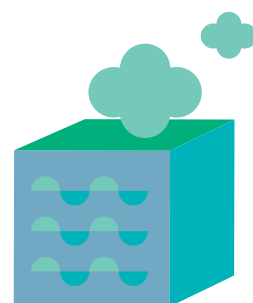
雇用を、生み出そう。

このまちには、

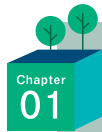
思いをカタチにする経営者がいる。

技術を研鑽する職人がいる。

企業の成長が、まちの成長になる。



contents



Chapter
01

03 ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業補助金

04 支援事例

05 支援事例



Chapter
02

06 小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業補助金

07 支援事例

08 支援事例



Chapter
03

09 製造拠点省力化機器導入促進補助金

10 支援事例



Chapter
04

11 ものづくり企業女性就職促進助成金

12 支援事例



Chapter
05

13 サステナブル食品開発補助金

14 支援事例

15 支援事例



Chapter
06

16 DXモデル創出補助金

17 支援事例

18 支援事例



Chapter
07

19 デジタル化促進補助金

20 支援事例



Chapter
08

21 医療機関ニーズ対応型開発補助金

22 支援事例



Chapter
09

23 札幌圏設備投資促進補助金

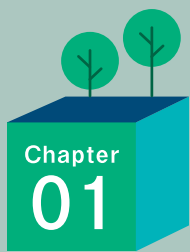
24 支援事例



Chapter
10

25 海外展開支援事業

26 支援事例



ものづくり開発・グリーン成長分野推進事業補助金

1 | 目的

札幌市の様々な産業をけん引する「重点分野」及び、札幌市産業全体の底上げが期待される「ものづくり分野」、「介護支援関連分野」及び「環境関連分野」において、さっぽろ連携中枢都市圏※（以下、「圏域市町村」という）内の企業者等が行う新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）の取組を支援することによって、圏域内の経済の活性化を図っていくことを目的としています。

※「さっぽろ連携中枢都市圏」とは、札幌市及び近郊11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町）のことをいいます。

2 | 補助対象事業・補助対象者・補助金額

補助対象事業	以下の分野における新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）に関する取組		
補助対象分野	食関連分野、健康福祉・医療関連分野、製造関連分野、IT関連分野	介護支援関連分野	環境関連分野
補助対象者	下記の要件をすべて満たす中小企業者・組合等		下記の要件をすべて満たす企業・組合等もしくは企業、組合等を代表とし、企業等・大学研究機関等により構成したコンソーシアム
	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域市町村内に本社を有する企業であること ・設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見通しがあること ・事業を実施するための経営資源、人材等を有していること 		
補助金額	上限額500万円		上限額1,000万円
補助率	1/2 ※バリアフリー等に資する開発は2/3	2/3	

3 | 補助件数

8件

- 炭素粉末／樹脂複合材料による燃料電池セパレータ板の量産技術の研究開発（株式会社FJコンポジット）
- 開発中の集塵機能付きマルチコアドリル（仮称） 発売に向けたダイヤモンド砥粒の溶着・合金形状改良及び新発想センターピンの開発（株式会社コバルテック）
- 潰瘍性大腸炎の炎症を自動判定するAI診断ソフトウェアの開発（株式会社サンクレエ）
- LOHC評価装置の開発（株式会社産鋼スチール）
- デジタル装具サービスプラットフォームの研究及び設計・開発（有限会社テックワークス）
- レトルト食品の肉の旨みと食味を向上させる製造方法の確立（株式会社南華園）
- 障害者支援施設と果樹園間における、農福連携支援のためのプラットフォーム開発（株式会社メディア・マジック）
- 新規サケ未利用部位（えら）由来機能性成分エラスチンの開発・製品化（株式会社リナイス）

4 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 旅費 ●報償費 ●原材料・消耗品費 ●人件費 ●通信・運搬費 ●機器装置等賃借料
- 機器装置等購入費 ●外注費（調査・分析・加工・共同研究費等）
- その他本事業の遂行に必要と認められる経費

5 | 申請の受付・問い合わせ

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）ビジネスソリューション支援部
〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう
TEL:011-792-6119 URL:https://www.noastec.jp



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“コロナ禍を経て、もう1つの柱となる製品を。”

株式会社リナイス

#新規サケ未利用部位(エラ)由来機能性成分エラスチンの開発・製品化

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 コロナ禍を経た 経験

インバウンド向けの商品が壊滅的となる一方、在宅需要は伸びたので通販サプリメントは堅調。売上低下は限定的に抑えることができたが、2つの主力原料の販売に頼るだけでなく、もう1つの柱を作るべきだと判断。



point 2 残り94%からの 可能性

それまで製造していた機能性成分は、仕入れたサケの頭部から抽出した鼻軟骨から抽出・精製。鼻軟骨は頭部全体の6%でしかなく、残り94%から新たなアップサイクル素材開発の可能性を研究。



point 3 持続可能な社会への 貢献

エラ由来エラスチンの製造技術を確認させ、サケの「えら」をすべて有効活用できれば1100tのリサイクルが可能となり、水産系廃棄物の低減にもつながる、社会的意義も大きい商品となる。



Result Point 成果

サケのえら由来エラスチン製造方法を確立。機能性評価を行い、化粧品原料「サケエラスチン水溶液」を製品化。

Vision 代表取締役 中野 英春

“北海道の漁業も大きく変化していくなかで、各機関との共同研究をやってみようとお声がけ頂いたりもしているので、その影響を見据えながら事業に取り組みたい。もっとこれを使えるのではないかと、喜ばれる何かがあるのではないかと。という考えのもと、次の未利用資源を探して新しいものを開発していければいいですね。”



About

北海道産シロサケの未利用部位(サケ鼻軟骨)から機能性成分プロテオグリカン・Ⅱ型コラーゲンを抽出精製し製造・販売を行う。北海道大学、福井県立大学、室蘭工業大学、北海道科学大学、東海大学と共同研究を進め、機能性に関するエビデンスを構築。製造技術・機能性(用途)に関する登録特許は3件。

株式会社リナイス

〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目 北大FMI 国際拠点405
TEL:011-374-7118 URL: <https://linise.co.jp/>



“現場のニーズと社会課題から、 全く新しい製品を開発する。”

株式会社コバルテック

#開発中の集塵機能付きマルチコアドリル(仮称)発売に向けたダイヤモンド砥粒の溶着・
台金形状改良及び新発想センターピンの開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 現場からの声が きっかけ

現場の職人さんから「もっと切れ味の
良い刃はないか」「もっと寿命が長
い刃はないのか」という声に応えるた
め、ダイヤモンド工具の製造に取り組
んでいる。高くても良いものをつく
る、付加価値を高める製品をとにか
く発売しようと考えてきた。



point 2 他者に負けない アイデア

コンクリートやアスファルトを削る工
事の汚泥水発生を無くした製品「水
なし君」。土木工事現場より小規模な
工事、エアコンやストーブの取り付け
などのコンクリートに穴を開ける際
の粉塵を集塵する「JIN」など、工事現
場の環境問題を解決してきた。



point 3 もっと領域を広げる

「水なし君」や「JIN」を提案するため
に展示会などに出展していると、コンク
リート以外の建材や外壁材への対応
を聞かれることが多く、より広い現場
環境での環境汚染対策に対応できる
製品づくりをスタートした。



Result Point 成果

コンクリート向け製品を主軸としていたが、あらゆる被削材の
切削・集塵を対象とした製品が完成。

Vision 代表取締役 竹俣 真伸

“今回開発した製品の追い風になることが一つあります。エアコンやストーブなどの設置や取り
替え工事の際に、2006年以前の建物にアスベストが含有されているかどうかの調査が義務付
けられました。もし、アスベストが含有している建材などへの穴開け作業が発生した場合には、集
塵機能付きの刃物なので、飛散防止効果により、作業者の安全を確保するだけでなく、作業効
率も良く、どの建材にも対応できることから注目され始めています。”



About

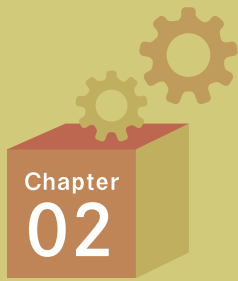
土木工事現場で使用されるダイヤモンド工具の製造・販売を行う。ダイヤモンド工具の製造は、関東以北では唯一。
主な製品はコンクリート・アスファルトなどの切断・穴開けが可能なダイヤモンド刃物。

株式会社コバルテック

〒003-0013 札幌市白石区中央3条2丁目1番30号

TEL:011-876-8755 URL:https://cobaltech.co.jp/





小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業補助金

1 | 目的

さっぽろ連携中枢都市圏※(以下、「圏域市町村」という)内の小規模企業が行う実用化・事業化の可能性が高い新製品・新技術開発や開発の前段階の取組(試験、試作、調査等)、後段階の取組(販路開拓・拡大)を支援することによって、小規模企業の付加価値向上を促進するとともに、ものづくり産業の振興を図ることを目的としています。

※「さっぽろ連携中枢都市圏」とは、札幌市及び近郊11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町)のことをいいます。

2 | 補助対象者

以下の要件をすべて満たす小規模企業者

- (1)圏域市町村内に本社を有する企業
- (2)設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見通しがあること
- (3)事業を実施するための経営資源、人材等を有していること
- (4)直近2か年連続で当該事業の補助金の交付を受けていないこと

【小規模企業とは】

業種	常時使用する従業員
①製造業、建設業、運輸業、 その他の業種(②を除く)	20人以下
②卸売業、サービス業、小売業	5人以下

3 | 補助対象事業

食品以外のもので、分野に関する以下のいずれかの取組

- 開発の前段階の取組(試験、試作、調査等)
- 新製品・新技術開発の取組(既存製品の改良を含む)
- 開発の後段階の取組(販路開拓・拡大)

4 | 補助金額

補助対象経費の2/3以内、上限額200万円

5 | 補助件数

12件(令和5年度採択案件)

【製品開発枠】

- 北海道産木材を使ったギターブランドのオリジナルピックアップ開発(Shikagawa Musical Instruments鹿川 慎也)
- フィットネスマシンの開発・製造販売事業(株式会社エスピーエ研)
- 北海道の冬を安心安全で楽しく。雪道のおともツール。～スノーグリップ「yukimichi no otomo」リデザイン開発～(うながぶらす株式会社)
- エコエネ柱(太陽光ハイブリッドシステム)の試作機の構築(トラスBP株式会社)
- 雪道の運搬を楽に!配達する人に役立つ台車ソリの開発(有限会社北海化成工業所)
- 捕獲者の安全を一番に考慮した、革新的な捕獲率の高いくり罠の開発・試作(株式会社ファームファースト)
- 鳥獣害対策(シカ被害対策・鳥インフルエンザ対策)忌避材の開発(ハーテック株式会社)
- 新規ブランド創出事業 AINU OUTDOOR「SUNKU(スंक)」アイヌの知恵シリーズ 新規商材開発 アカエゾマツ精油配合 SKIN GUARD MIST 製品開発事業(株式会社オワゾブルー)
- 札幌開催 2024年ファッションショーに向けての「新商品開発」(monmecci(モンメッチ)菊池 桃子)

【販路拡大枠】

- ピースエイト台湾販路拡大のための医療機器認可取得計画(ジーエス・サイエンス株式会社)
- 病院給食等の大量調理施設対応のデジタル衛生記録・遠隔管理アプリの拡販(OMリサーチ&コンサルティング株式会社)
- 北海道の鉄工所ブランドFe:FRAME～未来の鉄工品～「OUTDOOR STOVE YUKI」販路開拓(及川鉄工株式会社)

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

【製品開発枠】(新製品・新技術開発、その開発の前段階の取組に関する事業)

- 人件費*1 ● 旅費 ● 原材料・消耗品費 ● 通信・運搬費 ● 機器購入費*2 ● 施設及び設備等賃借料 ● 外注費(調査・分析・加工等)
- テストマーケティング費 ● 知的財産等関連費 ● その他本事業の遂行に必要と認められる経費

【販路拡大枠】(自社で開発・改良した新製品等の販路開拓・拡大に関する事業)

- 旅費 ● 出展費 ● 広告費 ● ウェブサイト関連費 ● 設営費 ● 通信・運搬費 ● 施設及び設備等賃借料 ● 外注費
- 知的財産等関連費 ● その他本事業の遂行に必要と認められる経費

※1 人件費については補助対象経費総額の1/2以内かつ150万円を限度とする

※2 機器購入費については補助対象経費総額の2/3以内かつ200万円を限度とする

7 | 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 食・ものづくり産業振興部 ものづくり産業振興課
 〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 札幌市産業振興センター
 TEL:011-817-7890 URL:https://sec.or.jp/hanro-kakudai/subsidy/small-business/



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“お客様の困り事、どう解決するか。 コアビジネス周辺での事業展開。”

ハーテック株式会社

#鳥獣害対策(シカ被害対策・鳥インフルエンザ対策)忌避材の開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 自社の課題解決が 出発点

水産業のお客様の荷物を運ぶとどうしてもトラックの荷台を消臭する必要があった。様々な消臭剤を探して試していると、我樹丸(がじゅまる)という商品に出会った。それがとても素晴らしい商品だったので、開発元の北海道環境バイオセクターさんにメールをしたことから始まる。



point 2 ヒトデの可能性

北海道環境バイオセクターさんとの交流からヒトデから抽出するマリンサポニンという物質を知る。紫外線の光を受けると特定の領域で強烈に発光する性質を持っていることから、鳥獣害対策としてカラス対策に使用されている事例や、水産系の廃棄物処理問題に触れる。



point 3 コアビジネスの顧客が 持つ課題解決へ

メディアでも取り上げられる鹿による被害が、運送業の顧客との会話でも聞かれるようになり、マリンサポニンを活用した忌避材の開発アイデアへとつながっていく。一次産業やゴルフ場など市場規模が大きい需要がある。



Result Point 成果

製品のプロトタイプを制作し、実証実験を実施。忌避テープを施工したゴルフコースはシカ被害が少なくなるなど、効果が見込める結果を出した。

Vision 代表取締役 石崎 啓一

“今回のテーマとなった鹿の被害対策は北海道の課題であるし、水産系残渣(ヒトデ等)処理という面で北海道の課題である。お客様の課題を解決しながら、北海道の課題も解決できることに貢献し、会社としてのもう1つ柱を作っていきたい。”



About

本業である運送業の他、消臭石けんニオイナーシ及び高性能消臭忌避材 シン・デオ業務用販売、米ぬか分解資材「392」販売及びコンサルティングなど多岐に渡り展開。

ハーテック株式会社
〒065-0032 札幌市東区北32条東1丁目4番3号
TEL:011-299-8925 URL:https://hartech.biz/



“自分たちもまだ気づいていない、 商品の可能性を探して。”

monmecci

#札幌開催 2024年ファッションショーに向けての「新商品開発」

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 ブランドの世界観 を構築する

テキスタイルブランドとして布を販売する前に、オリジナルのデザインを生かした洋服を作りファッションショーを実施することで、ブランドの世界観を表現したいと考えた。

point 2 よりコアな ファンづくりへ

世界観を伝え、それに共感してくれたコアなファンはmonmecciのテキスタイルデザインをその世界観のなかで使用してくれる。これまでの雑貨を購入してくれていたファン層を、さらに広げる取組みを目指した。

point 3 型紙に合わせて、 模様を描く

シャツ、コート、ワンピース、パンツ、かごバッグを新たに製作。こだわり抜いた型紙それぞれに新たな模様を描いたことで、自分達も気づいていなかった可能性を感じた。



monmecci



Result Point 成果

テキスタイルブランドとして洋服部門を新たに立ち上げた。2024年秋のファッションショーに向けては、新たに10パターン程度をデザインする。

Vision 菊池桃子

“自分でやってみるまで、ものづくりで生計を立てることがどれだけ大変か知らなかった。もちろん東京に行けばたくさんの人に知ってもらえる機会は増えるけど、札幌から発信したい気持ちもある。札幌のものづくりを盛り上げたいというにはまだまだ微力ですが、日本全国や世界から評価されるものづくりに挑戦していきたい。”



About

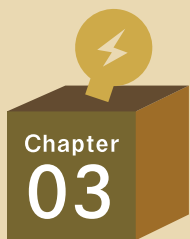
2016年スタートのテキスタイルブランド。自分が好きなものを創りたいという想いから、雑貨開発からはじまり、現在ではオリジナルデザインの柄をバッグなどに展開。2019年札幌スタイル認証。

monmecci

〒004-0834 北海道札幌市清田区真栄4条4丁目13-1-202

TEL:011-886-6788 URL:https://www.monmecci.com/





製造拠点省力化機器導入促進補助金

1 | 目的

人手不足が深刻化する製造拠点において、持続可能な生産体制の構築及び生産性向上・競争力強化の促進を図ることを目的とする。

2 | 補助対象者

さっぽろ連携中枢都市圏^{※1}域市町村内に本社及び工場を有する中小製造業及び建設業^{※2}

※1「さっぽろ連携中枢都市圏」とは、札幌市及び近郊11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町）のことをいいます。

※2 建設業については工事で使用する資材の加工等を行うための常設の拠点を有するものに限りません。

3 | 補助対象事業

自社の製造拠点における省力化に資する取組

4 | 補助金額

補助対象経費の1/2以内、上限額150万円

5 | 補助件数

12件(令和5年度採択案件)

- 工場内リアルタイム情報伝達体制、段取り時間削減による省力化プロジェクト(株式会社イチムラ)
- 生産現場を繋ぐ「見える化「見えるか?」」遠隔臨場による生産管理(及川鉄工株式会社)
- 家具製造用3D・CAD/CAM ソフト利用による建具製造の省力化(株式会社岡田建具製作所)
- 電気自動車(EV)向け放熱材料の検査効率向上(株式会社FJコンポジット)
- 手選別からAI自動選別機器活用による省力生産・加工デルの構築(三晃化学株式会社)
- 商品情報自動印字化計画(株式会社トップ・ラン)
- 工場の省力化に向けたファーストステッププロジェクト(富士屋鉄工株式会社)
- プラスチック原料搬送の機械化による省力化とリサイクル促進(有限会社北海化成工業所)
- ピッキングリフト導入で作業の省力化を実現～高付加価値ワインの提供へ(北海道ワイン株式会社)
- 生産管理の情報共有システム導入による省力化事業(有限会社前川機械工作所)
- 機械化で世界へ北海道の味を(株式会社丸一土井水産)
- 作業分析を反映した作業手順習得による生産性向上対策(株式会社ワールド山内)

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 機器等導入費 ●通信費 ●外注費 ●その他本事業の遂行に必要と認められる経費

7 | 申請の受付・問い合わせ

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)ビジネスソリューション支援部
〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう
TEL:011-792-6119 URL:https://www.noastec.jp



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“これからも選ばれる会社になるために。 我々にしかできない仕事のための、生産性向上を。”

富士屋鉄工株式会社

#工場の省力化に向けたファーストステッププロジェクト

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 時代の変化に 対応する

人手不足に対応するDXとはよく聞く話だったが、どこから手をつければよいかわからず必要性だけを感じていた。DXの前にとりあえずIoTをやるうと決め、実施したのが2023年度。



point 2 やるなら新たな 企業文化になるまで

デジタル化を目的とするのではなく、オールドエコノミー体質からの脱却をゴールとした企業文化に変えようとスタート。丁寧なコミュニケーションを重ね聞き取りをしていくなかで、既に課題を感じている社員も発見。



point 3 「わかりやすい改善」を 出発点に

「無駄」を発見することで、それを変えることができたらどうなる?を考えた。自分達のやり方を見直すことは難しいことだが、wifiを設置する、工場敷地内の移動を減らす、書類整理をデジタル化するなどわかりやすい改善を重ねることで、変わった実感を作っていた。



Result Point 成果

年間1000時間を超える時間ロスを圧縮するDXプランを実施。
製造現場だけではなく管理部門にも生産性を高める意識が波及。

Vision 代表取締役社長 松宮 勇市

“この事業を通じて、とにかく「無駄」と向き合ってきました。社員からの意見や提案もあり、少しずつ「もっとよりよくするには」という段階に入っていけると感じています。今働いてくれている人々をコアな価値と捉え、より「定時時間」を充実させていける会社になっていければと考えています。”



About

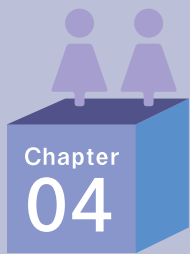
北海道の草分け的な存在として、120年の歴史を持つ製缶企業。その技能と経験を活かし、環境設備や産業機械の、設計から製造を一貫して行う。

富士屋鉄工株式会社

〒061-3241 石狩市新港西3丁目748番地(石狩工場)

TEL:0133-73-9571 URL:https://www.fujiya-group.co.jp/





ものづくり企業女性就職促進助成金

1 | 目的

人手不足が深刻化する製造現場において、さっぽろ連携中枢都市圏※(以下、「圏域市町村」という)内の中小企業者等に対し、女性の就職を促進するための職場環境の改善に必要な取組に係る経費の助成を通じて、人材の確保・定着及び魅力ある職場環境づくりに寄与することを目的とする。
※「さっぽろ連携中枢都市圏」とは、札幌市及び近郊11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町)のことをいいます。

2 | 助成対象者

圏域市町村内に本社及び製造拠点を有する中小企業者等のうち、製造業及び建設業(建設業については工事で使用する資材の加工等を行うための常設の拠点を有するものに限る)

3 | 助成対象事業

女性専用のトイレ、更衣室、休憩室、その他女性の人材確保・定着において市長が必要かつ適当と認める設備の設置。設置場所は、製造拠点もしくは製造拠点と同じ敷地内にある事務室等(製造拠点で従事する従業員が就業時に利用する場所に限り)とし、新設・改修いずれも対象とする。

4 | 助成金額

助成対象経費の2/3以内、上限額50万円

5 | 助成件数

5件(令和5年度における助成件数)

6 | 助成対象経費

本事業実施に係る工事費(最小限必要と認められる付帯工事費を含む)及び設計監理費の他、当該工事によって備え付けられる設備品費
※消費税、振込手数料及び自社(親会社・子会社・関連会社を含む)の技術や製造物等を調達する場合の経費は対象外

7 | 申請の受付・問い合わせ

札幌市経済観光局産業振興部産業振興課ものづくり産業係
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎15階北側
TEL:011-211-2392
URL:<https://www.city.sapporo.jp/keizai/seizo/shien/jyoseisyusokusokusin.html>



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“働くひとのための道具、これからも作り続けるために。”

有限会社 北海化成工業所

#女性の雇用・定着促進を目的とする女性用トイレ・手洗場の改修・設置

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 仕事の半分は、女性が活躍する

強い力が必要な加工が多く、男性のみが活躍しているようなこの業界だが、一つひとつ手作りに近いこだわりのあるものづくりをしているため、作業工程のうち半分は丁寧な細かい仕事が多い。そういった仕上げの仕事はやはり女性の方が上手。



point 2 はたらく環境の大切さに気づく

施設は古いが、利益を投じてトイレを改修し綺麗にしている観光スポットの話を知人から聞き、興味を持った。様々な商業施設のトイレを研究し、どんな環境が良いのかを考え始めた。



point 3 男性目線の経営からの脱却

「仕事＝成果を出したり、汗を流せば良い」といった昭和的な考えは終わり。重要なことは気持ちよく働いてもらうということ。そして、良い製品をつくることだと、意識が変化した。



Result Point 成果

女性専用トイレの設置。鏡や手洗い場も完備した。社員からは「明るくて、使いやすい!」と好評。離職率にも大きく影響した。

Vision 代表取締役 伊吹 敦

“当社の製品は主に「働くひとのための道具」です。例えば漁業に従事する方の作業効率が上がったり、そもそもたくさん採れるように工夫できたり。高くなくて、役に立つ良いものを作るというのは、資本をかければできるものではありません。期待にこたえられるようなものづくりを続けていくためにも経営の目線を新たにしていかなければいけません。次は空調かな。”



About

創業から50年を超えるプラスチック系の製作所。プレス成形・射出成形・真空成形・ブロー成形折り曲げ加工・切削加工・穴あけ加工・溶着・縫製・組立など幅広い成形・加工技術を駆使してオーダー応える。金属製のスコップしかなかった時代に、どこよりも早く樹脂製のスコップを作り、冬の札幌生活にはなくてはならないものを作っている。

有限会社 北海化成工業所

〒003-0029 北海道札幌市白石区平和通11丁目北8-14

TEL:011-864-3185 URL:https://hokkaikasei.co.jp/





サステナブル食品開発補助金

1 | 目的

市内食関連事業者の環境等に配慮した企業活動の推進を支援することを目的としています。

2 | 補助対象者

- ・札幌市内に本社(本所)を有する食関連事業者
- ・北海道内に本社を有し、かつ札幌市内に支店等を有する食関連事業者

3 | 補助対象事業

国内外への商業流通・販路拡大を前提に「持続可能な社会の実現」を目的とした、サステナブル食品の開発及び技術の開発に向けた取組であり、北海道産の農畜水産物を活用し、北海道内で製造されていること。

4 | 補助金額

- ・補助金額の上限:300万円
- ・補助率:補助対象経費の2分の1

5 | 補助件数

9件

- 輸出用「牛乳」と「ビート糖」を使った北海道濃厚ミルクかりんとうの開発(浜塚製菓株式会社)
- 輸出用「畜肉エキス」を除いた海鮮スープカレー開発(株式会社NEXT LEVEL)
- 酪農を支え、地域で循環、湧別町産の赤身牛肉と玉ねぎを原料としたハンバーグとローストビーフの開発(株式会社感動いちば)
- 北海道産アロニアを使用した商品開発(株式会社三星)
- 北海道産原料(規格外野菜・果物)を使った、生産・加工・流通が一体となった6次産業化のスイーツ・加工食品の開発(丸市岡田ホールディングス株式会社)
- 北海道産原料と、サステナブルチョコレート(売上の一部をカカオ森の植樹活動や就労支援資金に充当)を使用した菓子の開発(株式会社FUJI)
- 現行の包材をハイバリアの物へ変更、賞味期限の延長を実現することにより海外販路拡大とフードロス削減を目標とする(株式会社ほんま)
- 道産の植物由来の原材料(野菜、さのこ等)を使用したビーガンスープカレー・カレーの開発(株式会社タンゼンテクニカルプロダクト)
- 輸出用豚骨風味の白湯スープカレーを開発(株式会社吉山商店)

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 原材料費 ● 製造関係費 ● 施設整備費 ● 報償費 ● マーケティング費 ● その他の経費

7 | 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 食・ものづくり産業振興部 食産業振興課

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号

TEL:011-820-2062 FAX:011-815-9321 URL:<https://sec.or.jp/hanro-kakudai/subsidy/develop/>



令和6年度事業の詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“ニーズの変化への対応と北海道への貢献を実現する。”

丸市岡田ホールディングス

#北海道産原料(規格外野菜・果物)を生産・加工・流通一体となった
6次産業化のスイーツ・加工食品の開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 コロナの影響

店舗がある札幌市中央卸売市場は観光地なので、お客様がもうゼロという状況に。その中で、カヌレやチーズケーキ、アップルパイやシュークリームなどのデリバリーやテイクアウトをやり始めた。それも1年くらい経過した頃にはやめてしまっていた。



point 2 お客様からの声

カヌレだけはお客様から「また食べたい」という問い合わせがあって。問い合わせも1件が3件になり、3件が10件になり。また毎日作るようになっていきました。



point 3 「本当の」おいしさとは

コロナ禍をとお客様の価値観が変わってきたことを実感。「誰が、どう考え、どうやって作っているのか」が「本当」の美味しさをつくる。求められるニーズに対して、もっと深掘りした商品開発が必要だと考えた。



Result Point 成果

北海道産のさつまいもと
北海道産のトマトを使用したカヌレを発売。



Vision 取締役 岡田 隆志

“お客様が「食べること」を選別する時代、「本当の」おいしさを提供できなければと考えています。それには北海道の素材、一次産業のみなさんの収入になったり、直接消費者からの声を聞ける場を作ったり。使命感を持って、取り組んでいこうと思います。”



About

1955年創業。札幌市中央卸売市場にて北海道のこだわり商品の卸売、小売店、通販事業を営む。コロナ禍にて製造部門を追加し「メルカードスイーツまる」としてブランド展開をスタート。

丸市岡田ホールディングス

〒060-0011 北海道札幌市中央区北11条西21丁目2番1号 岡田ビル
TEL:011-611-1280 URL: <https://www.maruichi-okada.jp/>



“北海道に愛される企業になるために。 北海道の課題を解決する商品を。”

浜塚製菓 株式会社

#北海道の牛乳とビート糖を活用した輸出用かりんとうの開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 地域への貢献が まずは基本

北海道の貴重でかつ素晴らしい資源を守りながら育てる商品づくりを考え続けるなかで、残念ながら、北海道の3大余剰原料となってしまう「牛乳、米、甜菜糖」のうち、「牛乳」と「甜菜糖」を使うことで、食品ロス軽減に貢献できる商品を開発。

point 2 賞味期限の短さを 解決

かりんとうが輸出されていかないのは、賞味期限の問題があった。包装資材への工夫と脱酸素剤を入れることで長い賞味期限のロングライフを実現。

point 3 ジャパニーズ ラスクとして

見たこともない。食べたことは勿論ない。という海外マーケットに対してテストマーケティングを実施。ジャパニーズラスクとしての売り込み、北海道ブランド＝牛乳というブランド戦略も噛み合い、良い反応を得た。



Result Point 成果

北海道ブランド＝牛乳感を伝えるため、牛乳型のパッケージを製作する型を作成。2月には世界一斉発売ということで、今後も次のシリーズを検討。

Vision 池田靖子

“長い間北海道で商売を続けさせて頂いてきたので、北海道に愛される企業でありたいと思っています。もちろん会社なので存続してこそですが、どれだけ地域に支えられているかを実感し、地域に密着して仕事をしているかを考え続けていきたいですね。”



About

1950年創業のかりんとう製造メーカー。昔ながらの黒砂糖を使用したかりんとうの他に、北海道の牛乳で練り上げグラニュー糖を塗したかりんとうなど、札幌市民から愛されている。

浜塚製菓株式会社

〒003-0011 札幌市白石区中央1条3丁目32

TEL: 011-383-4129 URL: <https://www.hamatsukaseika.co.jp/>





DXモデル創出補助金

1 | 目的

市内IT事業者による「中小企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）化」に資する、デジタル技術を活用した製品、サービスの開発を通じて、中小企業におけるDX化を促進し、市内IT事業者においては本補助金の交付により開発した製品、サービスやソリューションを様々な領域に適用させ、新たなビジネスを創出し、自社の事業拡大を図ることを目的とする。

2 | 補助対象者

市内IT事業者*

※札幌市内に本社を有し、IT産業を主たる事業として営む中小企業

3 | 補助対象事業

中小企業が導入することで、DXのモデルケースとなりうる、補助対象者によるデジタル技術を活用したシステム開発をともなう製品やサービス、ソリューションの開発に係る事業。

4 | 補助金額

補助対象経費の2/3以内、上限額700万円

5 | 補助件数

予算2,800万円の範囲内で実施（令和5年度採択：4件）

- DXでバス事業の課題解決 エッジAI技術を活用したバス利用動向調査システムの開発（株式会社メディア・マジック）
- 位置情報DXのためのデータ共有クラウドサービス「MIERUNE BASE」開発事業（株式会社 MIERUNE）
- 中小企業のDX促進を狙いとする特化型AIモデルのプラットフォーム開発（株式会社調和技研）
- ユーザー様自身が自分で使って業務を可視化出来る様なチャットボット対話形式の現状分析ツールの開発（株式会社サンクレエ）

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 人件費 ●機器費・原材料・消耗品費 ●機器リース費 ●通信・運搬費
- 施設及び設備等賃借料 ●外注費 ●その他、理事長が適当と認める経費

7 | 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10 札幌市エレクトロニクスセンター

TEL:011-807-6000 FAX:011-807-6005 URL:https://www.eleecen.jp/



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“みんなでシェアして、課題を解決していくために。”

株式会社調和技研

#中小企業のDX促進を狙いとする特化型AIモデルのプラットフォーム開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 3つの事業展開

最先端のAIの研究開発成果を社会実装すること。もう1つはそれをプロダクト化することへの挑戦。3つ目として、札幌でのAI人材やAI開発企業の育成を柱とした教育事業の展開。地域への貢献は、北海道に育てていただいた企業という思いから。

point 2 誰でも使えるAI

「AIを使ってこういう事ができないか」という相談は多いが、1社でそれを作るとなるとコストの問題もあり、難しい場合も多い。少子高齢化や地域格差に直面する北海道だからこそ、みんなが活用できることが重要だと考えた。

point 3 機能限定による、わかりやすさ

インプットとアウトプットがわかりやすく、利用者に応じてカスタマイズ可能。浮世絵風変換モデルをインバウンド向け情報発信に活用するなど、アイデア次第で使い方は様々。観光やエンタメ業界、美容業界、そして一次産業での利用機会を低コストかつ簡単に創出できる。



Input



Output

浮世絵風変換モデル



物体カウントモデル

Result Point

成果

画像から体積や個数をカウントするAIモデル、品質判定や異物混入判定をするAIモデル、反射除去モデル、画像変換・生成系モデルといった8つのAIモデルを搭載したプラットフォームを開発。

Vision 代表取締役 中村 拓哉

“きっかけは昆布の産地での課題に触れたことです。良い商品になる昆布とそうじゃない昆布の見分けをAIを使ってできないかという話でした。でもそのノウハウは、全てそのベテランの漁師さんが持っていて、自分たちがいなくなったら誰も見分けることができない。そんな話が北海道は多いはずで、コストの問題を解決しながら、道内の中小企業に広げていく活動をしていきたいですね。”



About

2009年設立。最先端の研究成果を社会実装することを目的として、北大の調和系研究室から生まれたベンチャー企業。現在は人工知能の研究成果を活用しより社会を楽しくするような製品・サービスを開発。

株式会社調和技研

〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目2 北大ビジネスプリング 305号室

URL: <https://www.chowagiken.co.jp/>



“ニーズに応えたサービス開発を、より喜ばれるために。 課題を見つける開発へ。”

株式会社メディア・マジック

#DXでバス事業の課題解決 エッジAI技術を活用したバス利用動向調査システムの開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 バスキタ! 事業を通じて、地域交通の課題を抽出

雪による遅れなど、札幌ならではの冬の交通事情を解決しようと開発したのが「バスキタ!」。その事業を進める上で、地方のバス路線事情や交通事業者が抱える課題に触れる機会が増えた。



point 2 路線を維持するには、安価で導入できるシステムが必要

地方の交通インフラを維持していくための調査や分析において、正確なデータを取ることは誰しものが必要と考えるが、そもそも費用面や適合する車種の問題から調査システム導入が難しいケースもあった。



point 3 実証実験で活用への道筋が見えてきた

当別町のコミュニティバス「当別ふれあいバス」にて実証実験を行った。それまで運転手さんが調査やアンケートを実施していたケースもあり、今回開発したシステムでは手間にならない、便利であるとの声も。



Result Point

成果

バスの乗降人数、年代、性別、利用動向を調査することができるエッジAI技術を活用したシステムを開発。

Vision

(左から) 取締役 越後 智介
第一開発部 サブディレクター 小柄 麻衣

“雪国ならではのニーズに応じてスタートした「バスキタ!」事業が、今回開発した地域の交通事情の課題を解決するサービスにつながっています。当社として初めてのAI領域への進出でもあります。この画像解析AI技術の様々な領域での活用を検討しています。例えば、見た人の属性を検出するサイネージ広告や北海道ならではの獣害対策など、企業理念である「お客様に喜ばれることを喜びに感じる、コンテンツサービスの提供」を実現していきたいですね。”



About

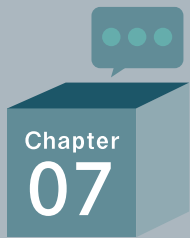
1996年創業、システム開発、アプリ開発、WEBサイト制作などを行うIT企業。最近では位置情報データの活用技術を生かし、バスの運行状況をリアルタイムで提供できる「バスキタ!」などバスロケーションシステム開発にも力を入れている。

株式会社 メディア・マジック

〒060-0003 札幌市中央区北3条西18丁目2-10 MMAビル

TEL:011-621-2500 URL:https://www.mediamagic.co.jp/





デジタル化促進補助金

1 | 目的

さっぽろ連携中枢都市圏※に本社を置く中小企業が、自社の経営課題の解決に向けた取組において、デジタル化をするために発生する費用の一部を補助することにより、自社ビジネスの成長・拡大のためのデジタルデータの活用を積極的に進めるための取組を促し、更に競争力及び成長性を高めていくことにより、本市経済の活性化に寄与することを目的とする。

※札幌市及び近郊11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町)

2 | 補助対象者

さっぽろ連携中枢都市圏に本社を有する中小企業(個人含む)、企業グループ、その他法人
ただし、IT産業を主たる事業として営む会社及び個人は除く

3 | 補助対象事業

自社の経営課題を解決するために、市内中小IT企業者*と協力し、デジタル化や、デジタルデータの活用に向けて取り組む事業
本補助金を通じて導入するシステムの利用を目的とした研修受講費用も対象に含む

※札幌市内に本社を有し、IT産業を事業としている中小企業(個人含む)

4 | 補助金額

補助対象経費の1/2以内、上限額300万円

5 | 補助件数

予算1,500万円の範囲内で実施(令和5年度採択:6件)

- 予実管理システムの構築(株式会社シズナイロゴス)
- 施工管理支援システム構築事業(株式会社リサイドワン)
- 不動産物件管理システム構築事業(株式会社アーバンビルサポート)
- 北海道の食材や食文化の魅力を発信する戦略的ECサイトの構築事業(株式会社南華園)
- スポーツ系遊具とデジタル技術を融合した新サービス開発事業(株式会社日本ディスカバリー)
- 新しい介護の働き方を実現する介護特化型スキマ時間マッチングアプリで『69万人介護人材不足』に取り組む事業(株式会社さくらコミュニティサービス)

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る市内中小IT企業者との間で発生する以下の経費

- 事業費
- 設備備品費
- 人材育成関連費

7 | 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 IT産業振興部
〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10 札幌市エレクトロニクスセンター
TEL:011-807-6000 FAX:011-807-6005 URL:<https://www.elecen.jp/>



※令和6年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“あと数パーセント、0.1パーセントできるかが 差別化につながる。”

株式会社シズナイロゴス #予実管理システムの構築

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 もともと常に、 効率化

生産性や効率化、DXがここまで社会に浸透する前から、物流業は物流データを使い効率化するのが当たり前。そうでなくては生き残れないと考え、様々な改善を実行してきた。2022年のDX認定取得で、さらに加速した。



point 2 眺めるではなく、 分析する

自動的に集まってくるデータを眺めるのではなく、分析する目を養うことが課題と感じている。手作業で行っていた時代には、異常値や間違いを発見する能力が自然と身についていたので、その大切さを引き継ぎながら進める必要がある。



point 3 新たに作れた 「1時間」の価値

予実管理システムを導入したことで、個人の作業時間は1時間短縮されるはず。その時間を分析する時間、よりよくしていくための従業員同士が会議をする時間に使う。コミュニケーションが次の施策を生み出す。



Result Point 成果

入庫作業・出庫作業・在庫管理などスマホで入力したデータから、生産性データ、個人別/業務別計画・実績表などを自動作成する予実管理システムを開発。個人の作成時間が6分の1に短縮。

Vision (左から) 代表取締役社長 伊藤 功一郎 経営管理部 王田 和弥

“システムを変えることには、やはり不慣れさやハードルがあります。でも、これは仕事をよくするツールであって、それが全体がよくなっていくことにつながります。最低限から始めることで、そこへの理解を作り、会社の能力という戦闘力を上げていかなければいけません。AIを含めて、これからどんどん進化していくでしょうから、あと何%、いや0.1%できるかが差別化につながります。データを集め、それをどう活用するかは人間の発想が必要です。そこを突き詰めていき最大公約利益を増やしていきたいです。”



About

1952年創業。包括的な物流事業＝サードパーティロジスティクス事業を行う。そこで培ったノウハウを基に、運送・保管という物流の軸を中心にしながら、様々なサービスを提供。

株式会社シズナイロゴス
〒003-0030 札幌市白石区流通センター7丁目8番21号
TEL: 011-893-8711 URL: <https://www.shizunai.co.jp/>





医療機関ニーズ対応型開発補助金

1 | 目的

医療機関等の現場における新たなニーズ及び現場における課題解決を目的とした研究開発・事業化を促進し、札幌市の産業を活性化することを目的とする。

2 | 補助対象者

以下のいずれかに該当する企業

①札幌市内に本社を有する企業

②札幌市内に事業活動拠点を有する市外本社企業

※医療機関等と、共同研究グループまたは試験導入等を実施する協力関係を構築している、または構築を計画していること（申請時点では構築できていなくても可）

※共同研究グループまたは協力関係を構築する医療機関等は札幌市外でも可。

※大学、試験研究機関、医療機関等は申請代表企業には該当しません。（共同研究グループに大学、試験研究機関を含むのは可）

※医療機関とは、原則として、病院や診療所、介護事業所とする

3 | 補助対象事業

医療機関等の現場従事者や患者等を取り巻く新たなニーズや課題を具体的に把握し、その解決を目的として、将来的な実用化・事業化を目指す技術・製品開発であり、医療機関等での試験導入や試作評価を実施または予定するもの。

4 | 補助金額

・補助金額の上限：100万円

・補助率：対象①に該当する企業：補助対象経費の10分の10以内

対象②に該当する企業：補助対象経費の2分の1以内

5 | 補助件数

5件

●間欠動作が可能な低圧持続吸引器の製品開発（エア・ウォーター・ライフサポート株式会社）

●VR技術を応用した医療教育ツールに用いる感覚フィードバック手法の検討（株式会社キシブル）

●Chat GPTによる福祉現場職員のメンタルヘルスケアチャットボット開発（株式会社さくらコミュニティサービス）

●リハビリテーションを「定量的評価」する三次元解析システムの精度検証及び改良（株式会社サンクレエ）

●CT・MRI検査時の腕支持器具の開発（北海道ポラコン株式会社）

6 | 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

●原材料費・消耗品費 ●機器リース料 ●機器購入費 ●施設及び設備等賃借料

●産業財産権等出願費 ●外注費（調査・分析・加工など）

7 | 申請の受付・問い合わせ

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）研究開発支援部

〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう

TEL：011-708-6392 URL：<https://www.noastec.jp/>



令和6年度事業の詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

“医療業界における、 学習と現場の乖離を埋める。”

株式会社キシブル

#VR技術を応用した医療教育ツールに用いる感覚フィードバック手法の検討

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 教育現場の 課題

X線検査における技術習得で懸念されるのは、被ばくの健康被害。それを解決し、いくらかでも学ぶことができるVR教育シュミレーターは、相性が良い。

point 2 よりリアルに 学ぶために

VR内で患者に触れている時や関節稼働時に実際の感触と近い状況を振動で再現。それまでの骨格モデルの関節動作の精度や、X線検査自体の精度に加え、高い教育効果や技術習得を狙った。

point 3 実際に学生からも 好評

同時に複数人が同じVRを使用できることで、教員や他の学生とも共有ができ、より臨床的な学びとなると好評。座学だけでは経験できないアウトプットを得られ、ゲーム性もあることから楽しみながら学んでいる。



Result Point 成果

VR教育シュミレーターにおいて、関節稼働時などのフィードバックを行える手法を開発。

Vision (左から)北海道科学大学 保健医療学部 診療放射線学科 教授 菊池 明泰 株式会社キシブル 代表取締役 岸 敬介

“VRの本質はコミュニケーションと演出だと考えています。今回の事業では演出という面で、よりリアルにX線検査については学べるようになりましたが、例えば患者さんどうコミュニケーションをとるか、現場ではどんなことが起こり得るかを想定したシナリオモードを追加することで、さらに効果的な教育ツールになるのではと考えています。”



About

リアルな演出やビジュアルにこだわるVR制作のワンストップサービスを提供。4大学7つの研究機関と連携し、医療系トレーニングVRの開発に力を入れる。

株式会社キシブル

〒001-0045 札幌市北区麻生町6-2-24(本社)
TEL:011-600-1278 URL:https://kishivr.com





札幌圏設備投資促進補助金

1 | 目的

札幌圏において、幅広い企業及び技術の集積を進め、経済の活性化及び産業基盤の強化を図るため、ものづくり産業等の設備投資に対し補助金を交付することにより、札幌圏への企業の立地を促進するとともに、市内企業の市外移転を防止することを目的とする。

2 | 補助対象者

(対象業種) 製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、学術研究・専門・技術サービス業

(対象施設) 対象業種の試験・研究・開発施設、工場、物流施設、データセンター

(重点施設) 対象業種のうち、食関連分野または先端技術分野の試験・研究・開発施設、工場、人材育成施設、データセンター

(重点地域) 札幌市内の工業団地、東雁来第2地区

(特例施設) 対象業種のうち、札幌市内の流通業務施設立地指定路線に立地することができる工場及び物流施設で、札幌市経済の活性化に資すると市長が認めるもの

3 | 補助対象事業

上記2にまとめて整理

4 | 補助金額

(札幌市内に重点施設を新設する場合、または重点地域に対象施設を新設する場合) 固定資産税課税標準額×20% (限度額10億円)

(札幌市内に特例施設を増設・市内移転する場合) 固定資産税課税標準額×20% (限度額10億円)

(上記以外に、札幌市内に対象施設を新設・増設・市内移転する場合) 固定資産税課税標準額×10% (限度額5億円)

5 | 補助件数

5件(令和5年度における補助交付件数)

【内訳】(株)ほくやく、北海道ホールフーズ(株)、西山製麺(株)、NDTS(株)、(株)久原本家食品

6 | 補助対象経費

新設、増設、市内移転で取得した固定資産税の課税対象になる土地・建物・償却資産

(土地について、初回申請日の6カ月以前に取得したものは対象外)

7 | 申請の受付・問い合わせ

札幌市経済観光局 経済戦略推進部 産業立地・戦略推進課 立地促進係

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL: 011-211-2362 Email: business@city.sapporo.jp

URL: <https://www2.city.sapporo.jp/invest/>



※令和6年度事業詳細は、企業誘致専用ページで公開する情報をご確認ください。

“時代に合わせて、医薬品供給を安心・安全に行うために。”

株式会社ほくやく

#株式会社ほくやく札幌支店の移転新築

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 更に品質管理を重視した時代に

病院・薬局等への医療用医薬品等の卸売販売事業を行う株式会社ほくやく。近年、国の医療費抑制政策に伴う医薬品の取り扱いに加え、希少薬や温度管理等が必要な医薬品の発売によって、品質管理を重視した設備・環境が急速に必要なようになってきていた。また、以前の札幌支店は狭隘化しており、市内中心部の基幹病院等の在庫を西区発寒の拠点で保管・配送していたため、配送面であり効率的でない部分があった。



point 2 市内中心部の基幹病院等への流通アクセスも改善

市内中心部(大通西16)に現在の札幌支店ができ、倉庫面積も広がったことで、市内中心部の基幹病院等の在庫を札幌支店で保管・配送できるようになり、より効率的な配送が可能となった。
※得意先116軒分(約2400アイテム)の流通アクセスを改善。



point 3 ロボット導入を含めて効率的な施設は、災害時でも対応可能

ピッキング支援ロボットの導入に加え、倉庫面積が広がったため、作業効率の良い商品配置や通路幅を確保が可能となり、効率的な施設に。また、3日間(72時間)程度の生活用水・電気を確保可能な貯水槽・自家発電機を整備することで災害時でも対応できる施設となった。



Result Point

成果

- ①市内中心部の基幹病院等への流通アクセスが改善した。
- ②災害時でも対応可能な設備環境を有する施設ができた。
- ③ロボット導入も含めて、効率的な施設とすることができた。

Vision

当該施設は主に高機能医薬品供給施設として位置づけており、今後整備予定の弊社施設との機能分担を行うことで、全道の医療機関等への医薬品供給を安心・安全に行うことを使命として更に取り組んで参ります。

About

医療用医薬品並びに検査試薬等の卸売販売。全拠点26(物流21、営業23、その他3)。全道約7000軒の医療機関、調剤薬局等への医薬品等の供給をしており、当該支店は市内中心部の医療機関等への販売を行っている。

株式会社ほくやく

〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

TEL:011-611-0989 URL:https://www.hokuyaku.co.jp/





Chapter 10 海外展開支援事業

1 | 目的

国内市場の縮小や海外の需要拡大、サービスのグローバル化等のビジネス環境の変化を踏まえ、札幌市内企業が海外に事業を展開し、海外からの需要獲得を推進することを目的としています。

2 | 支援対象者

(対象国)全世界

(対象業種)全業種

本事業に申請できる事業者は、下記ア、イのいずれかに該当し、かつウからクの全ての要件を満たす中小企業とします。

ア) 札幌市内に本社(本所)を有する中小企業

イ) 北海道内に本社を有し、かつ札幌市内に支店等の拠点を有する中小企業

ウ) 海外展開に向けて、既に取り組んでいる又は今後取り組む意欲があり、実施するための経営資源(資金・人員・環境・目的意識等)が整っているまたは整う見通しや整える意欲があること

エ) 支援期間中及び支援期間終了後、当財団が実施する調査に回答すること

オ) 札幌市税を滞納していないこと

カ) 反社会的勢力との関係を有していないこと

キ) 専門家を指定した申込など、既に商談を進めているコンサルタント等から営業目的での斡旋を受けていないこと

ク) その他、理事長が不相当と認めるものでないこと

3 | 支援内容

海外ビジネス支援プラットフォーム「Digima～出島～」と提携し、海外展開に必要な不可欠な専門アドバイザーを活用して、以下の支援を無料で行います。

- 専門アドバイザーへのスポット型相談
- 海外展開に関する事業計画策定支援
- 現地企業との商談支援

4 | 支援件数

61件(令和5年度における支援件数)

5 | 申請の受付・問い合わせ

一般財団法人さっぽろ産業振興財団 企業支援担当部

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号 札幌市産業振興センター

TEL:011-817-8913 URL:<https://www.sec.or.jp/overseas/>



※令和6年度事業詳細は、企業誘致専用ページで公開する情報をご確認ください。

“地方の中小企業が元気になるためには、国内市場と同時に海外展開を考えることが必須。”

株式会社みどり工学研究所

#Field data伝送システム「SESAME」海外への展開

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 きっかけは インドネシア

2009年に北海道大学から、インドネシアにおける熱帯泥炭地の地下水位と降雨量のリアルタイムのデータ伝送を依頼された。海外のデータロガーに記録されたデータを回収するのが非常に大変だったため、海外展開するきっかけとなった。



point 2 課題解決型 ソリューション

防災、スマート農業、漁業での利用の他、いろいろな場所での利用方法がある。多種の問題要求に対応するソリューションを提供し、費用対効果を考えユーザーに適したシステムを提案するメーカーを目指している。



point 3 いいものを より安く提供する

「水と土を考える」という意味を含め、環境を考えていくことを目的とした社名のとおり、同じ課題をもつ国や企業に良いシステムを安価で提供していくためにも、海外マーケットに着目。

Result Point 成果

これまでにインドネシア、ベトナム、マレーシア、タイ、アフリカ(ジブチ)に展開してきたが、今回の支援事業を使いモンゴルの企業と商談を実施。

Vision 所長 繁永 幸久

“日本においては、人口減少、特に若年労働者不足から、あらゆる場所で人手不足になります。その対応として、IoT技術は必須。国、地方自治体においても、同様であると考えられる。しかし、官需に対応する商品の開発、販売実績を問われることが多い。この参入障壁をクリアするために海外での販売、実績等が有効になる。また、海外には、日本よりはるかに大きいマーケットが存在している。積極的に海外市場展開に注力する体制を作ることが必要であるので、まずチャレンジすることが大切です。”



About

SESAMEは、センサー、データロガー、通信モジュール、電送ルート(携帯会社情報、衛星データ通信)、クラウドサーバーの運営、その中のWEBアプリケーションなど、時間をかけて熟成したシステムであり、ユーザーの様々な要求に迅速に対応可能。また、製造も含めて内製化することで全体的なコスト削減を実現。仕事を楽しむこと、あきらめないことを社是としている。

株式会社みどり工学研究所

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目1-23 道通ビル802

TEL:011-555-5000 URL:https://midori-eng.com/





さっぽろ市
01-H01-24-352
R6-1-45

令和6年(2024)4月

発行
札幌市経済観光局産業振興部産業振興課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎15階
TEL:011-211-2392 FAX:011-218-5130